

百五十一周年目の高田小がスタートしました。今年度もどうぞよろしくお願いします。

学校教育目標については、先の読めない時代を生きいく子どもたちは主体的に学ぶことが大切と考えています。学校は、子どもが社会に出てからも、たくましく、しなやかに、そして堂々と自分の人生を生きていく力を育むところであると考えます。ですから、主体性を育む指導が必要であると考え、「夢の実現に向けて、主体的に学び続ける高田の子」といたしました。子どもを中心に据え、学校教育だけでなく、この目標を保護者や地域の皆さんと共にし、同じ方向を向いて子どもを育てるため、「高田の子」と締めくくつてみました。さらに学校教育目標を子どもにもわかる言葉で表



校長
上村 智俊



ごあいさつ

せないかと考えました。「高田つ子の『やつてみよう』なりたい自分になるために」と考えました。「好きなことをする」「人のためにする」「すすんでする」の三つです。子どもたちの「やつてみよう」は多くの場合、自分の好きなことだと思うのです。でも「好きなこと」が「好き勝手」ではなくいいと思うのです。それは「誰かのために」という気持ちがないからだと思います。子どもたちの「やつてみよう」が他の人のことを考えない「好き勝手」ではないませんので、こんな言葉を考えてみました。子どもたちの一人一人に染み入るよう、担任の先生を通して働きかけたいと思っています。子どもの未来を考えると、私たちがすべきことは、自身や子どもの心に灯をともすことではないでしょうか。心に灯がともると、人は輝き、存在がはつきり見えるようになります。人と人がつながり、学びを深めるきっかけとなります。ですから、学校は教える教わるの「教校」ではなく、共に学ぶ「学校」と名付けられたと思います。子どもも教員も教える育てるのではなく、自ら育つそのための条件を整えるのが、校長の仕事と思っています。

日頃より高田小学校のPTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。2024年度のPTA会長を務めさせていただっことなりました藤崎と申します。微力ではあります、子どもたちのために精一杯努力してまいります。P.T.Aの目的は、家庭と学校が担っているそれぞ



PTA会長
藤崎 真



ごあいさつ



編集
高田小報部
広報

発行責任者
PTA会長
藤崎 真
児童数 372名
5月1日現在
印刷 クギヤ印刷株



新入生保護者代表挨拶

新入生保護者代表 松岡 陽香

これから始まる小学校生活に、子どものみならず私たち保護者も、期待や希望をふくらませつつ、一抹の不安を抱きながら今日という日を迎えました。

お友だちと仲良くできるか、先生の話をしっかりと聞くことができるか、勉強を頑張ることができるか、自分を大切にできるか…願いは尽きません。

約6年前、産声を上げた子どもたち。いつまでも私たちの腕の中にすっぽりと包まれている小さな子どものように感じていましたが、制服に身を包んだ子どもたちの姿を見て、保護者としても気が引き締まる思いでいっぱいです。

これから始まる学校生活では、家庭の中ではできない経験をたくさんさせていただけるのだと思います。

子どもたちが幼児から少年・少女に、成長する発達段階の中で、日々向き合っていただけることは、大変ありがたい限りです。

子どもたちがよりよい大人へと成長していくためには非、学校教育、そして、先生のお力添えをいただけたらと思います。

保護者も学校も同じだと思います。家庭教育と学校教育とが手を取り合って、子どもたちの成長を支えることができればと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうか温かいご指導をよろしくお願いいたします。



1年1組



1年2組



例年の活動内容では、学期ごとの始業式の朝、校門・裏門の役員の保護者が立つてあいさつ運動を行い、子どもたちが元気に1日をスタート出来るようにと活動をしてきました。

しかし、通勤や家族の送迎など、忙しい時間帯も重なり、活動に参加しにくい状況でした。そして、通勤の車が多い時間帯でもあり、校門前の道路が混雑してしまった等のご意見もいただいておりました。

そのため、活動に参加しやすく、子どもたちの安全を守るために、役員会で話し合いました。

期に1回、子どもと一緒に登校し、通学路の危険個所などを確認する」と、変更をさせて頂きました。

活動日は特に決めず、「(+)自身の出来事」に、取り組んでください。

また、学校までが遠く、時間的に難ければ、「通学路の途中まで一緒に登校

本年度より交通委員の活動内容が変更になります

